

II. 単位制度と単位の認定

1. 単位制度

大学の学修はすべて単位制になっています。単位制とは、すべての科目に一定の単位数が定められており、その科目を履修して単位を修得し、定められた卒業要件単位数を満たすことで卒業が認定される制度です。

(1) 単位とは

単位とは、学修の量を数字で表すものであり、原則として各単位数によって必要な学修時間が定められています。

(2) 授業方法と授業時間、単位の計算方法

授業は、講義、演習、実験、実習及び実技のいずれかの方法またはこれらの併用により行うものとします。

『講義』：教員の解説を中心にして学ぶことを主とした授業。

『演習』：研究・発表・討議・活動などを行うことを主とした授業。

物事に習熟するために、繰り返し学ぶことや実際に規定し学ぶことを主とした授業。

『実験』：ある理論や仮説を確認するために、実際に経験することを主とした授業。

『実習』：知識や技術を、実際の現場で、または実物を用いて学ぶことを主とした授業。

『実技』：技術や演技などを実際に行うことを主とした授業。

いずれの方法においても、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とします（学則第24条）。なお、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果及び授業外に必要な学修（予習・復習等）を考慮して、標準的な授業時間数を次のとおり定めます。

①講義、演習

15時間の授業と30時間の授業外での学修（予習・復習等。以下同じ）をもって1単位とするものと30時間の授業と15時間の授業外での学修をもって1単位とするものがあります。

②実験、実習、実技

30時間の授業と15時間の授業外での学修をもって1単位とします。ただし、授業科目によっては45時間の授業をもって1単位とするものがあります。

③上記1及び2の併用により行う場合は、その組み合わせに応じ、規定する基準を考慮して定められた時間の授業と授業外の学修をもって1単位とします。

④卒業研究等の授業は学修の成果を評価して、適切な単位を定めます。

※各時限は90分で行われますが、2時間として計算します。

(4) 単位の認定

一つの授業科目に定められた単位を修得するためには、次の3つ要件を満たしていなければなりません。

- ① 単位の認定を受けようとする科目について履修登録をすること。
- ② その科目の授業に出席し、履修に必要な学修をすること。(予習、復習含む)
- ③ 科目のシラバス(講義概要)の成績評価の方法と基準により、合格(60点以上)をすること。

2. 履修登録制度

履修登録とは、科目を履修するための手続きです。この登録をしなければ、仮に授業に出席していたとしても、試験を受けることや単位認定を受けることができません。履修登録は学修計画の基礎となるものであり、すべて自分の責任において取り組まなければなりません。

履修登録は、前学期(4月)のオリエンテーション期間に行います。前学期、後学期を含む1年間の履修登録をする必要がありますので、履修登録の際は綿密に履修計画を立ててください。ただし、後学期(9月頃)のオリエンテーションで後学期の履修登録の変更は可能です。(詳細は「Ⅳ. 履修登録」を参照してください)

3. 卒業要件単位及び学士

卒業は大学が定める教育課程の修了であり、「学士」の学位が授与され、その証明が卒業証書・学位記です。卒業するためには、大学が定める教育課程(カリキュラム)にしたがって学修し、所定の単位数を修得しなければなりません。

(1) 卒業要件

本学において、卒業認定を得ようとする者は、次の2つを満たさなければなりません。

① 所定在学年数

本学の教育課程(カリキュラム)を修了するには、4年以上在学しなければなりません。休学した場合は自動的に卒業期が延期されます。

② 所定単位の修得

それぞれの入学年度ごとに示された科目配置表に基づき、科目区分、領域からそれぞれ指定された単位数を取得し、教育課程(カリキュラム)全体から要卒単位として定められている単位数を修得しなければなりません。

入学年度ごとの所定単位の修得については「入学年度ごとの卒業要件単位数表」を確認してください。

(2) 卒業の時期

卒業認定は、毎年度末（3月）に行います。ただし、教授会が必要と認めるときは、在学期間が4年以上の者について前学期終了時（9月）に卒業を認定することがあります。

4. 他大学等で修得した科目の単位認定

本学に入学する以前、または在学中に他大学等で単位を修得した学生には、申請があればその科目を本学の単位として認定することがあります。認定は、教授会の議を経て行われます（学則第28条、第29条）。

5. 休学、退学等の学籍異動

(1) 休学

病気その他の理由で3カ月以上修学することができない者は、休学することができます。休学期間は1学期または1学年を区分とします。休学しようとする者は、「休学願」を学務・学生支援グループの提出してください。病気による場合は診断書が必要です。

休学期間中の学費（授業料・実践教育費）は、休学しようとする学期の始まる前日（前学期3月31日、後学期9月30日）までに所定の手続きを済ませたときには徴収されません。また、休学期間は在学年数に参入しません。すなわち、休学した場合は自動的に卒業期が延期されますので、このことを念頭において手続きをしてください。

(2) 復学

休学の理由がなくなり復学を願い出るものは、「復学願」を学務・学生支援グループに提出し、復学することができます。

(3) 退学

家庭の事情や一身上の都合により修学が不可能な者は「退学願」を学務・学生支援グループに提出して下さい。退学の手続きを行う際には、その学期の学費を完納していなければなりません。

懲戒処分による退学は、学則の規程によります。

(4) 再入学

退学した者が再び入学を願い出たときは、その事情を調査の上、原年次またはそれ以下の年次に入学を許可することがあります。

(5) 除籍

次のいずれかに該当する者は、除籍とします。除籍処分については、学則の規程によります。

- ・学則に定める在学年限を超えた者
- ・学納金の納付を怠り、督促を受けてもなおこれを納付しない者
- ・学則に定められた休学期間を超えても復学できない者
- ・長期間にわたり行方不明の者
- ・入学手続きを終えて入学意思のない者

(6) 復籍

学納金未納による除籍者で復籍を希望する者は、除籍後所定の期間内に限り復籍を願い出ることができます。復籍しようとする者は、「復籍願」を学務・学生支援グループに提出するとともに未納分の学納金を納入しなければなりません。

6. 入学年度ごとの卒業要件単位数表

2018年度、2017年度入学生

地域経営学科

卒業要件単位数

カテゴリー		卒業要件単位数
共通教育科目	外国語科目群	6 単位以上 (必修 2 単位、選択 4 単位)
	一般教養科目群 - 人文系	6 単位以上
	一般教養科目群 - 社会系	6 単位以上
	一般教養科目群 - 自然系	6 単位以上
	演習系科目群	22 単位以上 (必修 22 単位)
専門教育科目	学部共通専門科目群 ※1	28 単位以上 (必修 4 単位、選択必修 8 単位、選択 16 単位)
	学科別専門科目群 ※2	32 単位以上 (選択必修 12 単位、選択 20 単位)
その他		全カテゴリーから 20 単位以上
合計		126 単位

■各卒業要件単位数を超えて修得した単位は「その他」に含まれる。

■選択必修については下記のとおりとする。

※1 「簿記論Ⅰ」「簿記論Ⅱ」「工業簿記」「社会調査論」「環境学」「公共経営入門」「統計学」「経営学入門」「経済学入門」から 8 単位以上修得すること

※2 「行政学」「自治体政策法務」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「財務諸表論」「経営分析」「流通システム論」「ロジスティクス論」「企業論」「地域農業システム論」から 12 単位以上修得すること

医療福祉経営学科

卒業要件単位数

カテゴリー		卒業要件単位数
共通教育科目	外国語科目群	6 単位以上 (必修 2 単位、選択 4 単位)
	一般教養科目群 - 人文系	6 単位以上
	一般教養科目群 - 社会系	6 単位以上
	一般教養科目群 - 自然系	6 単位以上
	演習系科目群	22 単位以上 (必修 22 単位)
専門教育科目	学部共通専門科目群 ※1	28 単位以上 (必修 4 単位、選択必修 8 単位、選択 16 単位)
	学科別専門科目群	32 単位以上 (選択必修 12 単位、選択 20 単位)
その他		全カテゴリーから 20 単位以上
合計		126 単位

■各卒業要件単位数を超えて修得した単位は「その他」に含まれる。

■選択必修については下記のとおりとする。

※1 「簿記論Ⅰ」「簿記論Ⅱ」「工業簿記」「社会調査論」「環境学」「公共経営入門」「統計学」「経営学入門」「経済学入門」から 8 単位以上修得すること

2016年度入学生

地域経営学科

卒業要件単位数

カテゴリー		卒業要件単位数	
		公共経営コース	企業経営コース
ベーシック ス	一般教育・外国語科目群-人間社会系	20 単位以上	
	一般教育・外国語科目群-自然系		
	一般教育・外国語科目群-外国語系 ※1		
	一般教育・外国語科目群-留学生系 ※2		
	情報・演習系科目群	20 単位以上	
スペシャ リテイ	経営・会計系科目群	20 単位以上	26 単位以上
	公共経営系科目群	24 単位以上	—
その他 ※3		全カテゴリーから 40 単位以上	全カテゴリーから 58 単位以上
合計		124 単位	

※1 母国語の科目については履修を認めない。

※2 留学生のみ履修を認める。

※3 各卒業要件単位数を超えて修得した単位は「その他」に含まれる。

医療福祉経営学科

卒業要件単位数

カテゴリー		卒業要件単位数
ベーシック ス	一般教育・外国語科目群-人間社会系	20 単位以上
	一般教育・外国語科目群-自然系	
	一般教育・外国語科目群-外国語系	
	情報・演習系科目群	20 単位以上
スペシャ リテイ	経営・会計系科目群	16 単位以上
	公共経営系科目群 ※1	
	医療・福祉系科目群	32 単位以上
その他 ※2		全カテゴリーから 36 単位以上
合計		124 単位

※1 開講科目のうち8単位までを卒業要件単位数として認める。

※2 各卒業要件単位数を超えて修得した単位は「その他」に含まれる。

2015年度入学生

地域経営学科

卒業要件単位数

カテゴリー		卒業要件単位数	
		公共経営コース	経営コース
ベーシック	一般教育・外国語科目群-人間社会系	20 単位以上	
	一般教育・外国語科目群-自然系		
	一般教育・外国語科目群-外国語系 ※1		
	一般教育・外国語科目群-留学生系 ※2		
	情報・演習系科目群	20 単位以上	
スペシャリティ	経営・会計系科目群	20 単位以上	26 単位以上
	公共経営系科目群	24 単位以上	—
その他 ※3		全カテゴリーから 40 単位以上	全カテゴリーから 58 単位以上
合計		124 単位	

※1 母国語の科目については履修を認めない

※2 留学生のみ履修を認める

※3 各卒業要件単位数を超えて修得した単位は「その他」に含まれる。

医療福祉経営学科

卒業要件単位数

カテゴリー		卒業要件単位数
ベーシック	一般教育・外国語科目群-人間社会系	20 単位以上
	一般教育・外国語科目群-自然系	
	一般教育・外国語科目群-外国語系	
	情報・演習系科目群	20 単位以上
スペシャリティ	経営・会計系科目群	16 単位以上
	公共経営系科目群 ※1	
	医療・福祉系科目群	32 単位以上
その他 ※2		全カテゴリーから 36 単位以上
合計		124 単位

※1 開講科目のうち8 単位までを卒業要件単位数として認める。

※2 各卒業要件単位数を超えて修得した単位は「その他」に含まれる。

2014年度入学生

地域経営学科

卒業要件単位数

カテゴリー		卒業要件単位数
ベーシック	一般教育・外国語科目群-人文系	4 単位以上
	一般教育・外国語科目群-社会系	4 単位以上
	一般教育・外国語科目群-自然系	4 単位以上
	一般教育・外国語科目群-外国語系 ※1	6 単位以上
	経営・会計系科目群	24 単位以上
	情報・演習系科目群-情報系	8 単位以上
	情報・演習系科目群-演習系	28 単位以上
	留学生科目群-人文系 ※3	-
	留学生科目群-社会系 ※4	
	留学生科目群-外国語系 ※5	
スペシャリティ	地域経営学科コース系科目群 -総合ビジネスコース	20 単位以上
	地域経営学科コース系科目群 -観光ビジネスコース	
	地域経営学科コース系科目群 -スポーツビジネスコース	
その他 ※6	全カテゴリーから 26 単位以上	
合計		124 単位

- ※1 母国語の科目については履修を認めない
- ※2 留学生のみ履修を認める
- ※3 一般教育・外国語科目群-人文系に読替可能とする
- ※4 一般教育・外国語科目群-社会系に読替可能とする
- ※5 一般教育・外国語科目群-外国語系に読替可能とする
- ※6 各卒業要件単位数を超えて修得した単位は「その他」に含まれる。

医療福祉経営学科

卒業要件単位数

カテゴリー		卒業要件単位数
ベーシック	一般教育・外国語科目群-人文系	4 単位以上
	一般教育・外国語科目群-社会系	4 単位以上
	一般教育・外国語科目群-自然系	4 単位以上
	一般教育・外国語科目群-外国語系 ※1	6 単位以上
	経営・会計系科目群	24 単位以上
	情報・演習系科目群-情報系	8 単位以上
	情報・演習系科目群-演習系	28 単位以上
	スペシャリティ	医療福祉経営学科コース系科目群 -医療情報コース
医療福祉経営学科コース系科目群 -健康福祉コース		
その他	全カテゴリーから 26 単位以上	
合計		124 単位

- ※1 母国語の科目については履修を認めない
- ※2 各卒業要件単位数を超えて修得した単位は「その他」に含まれる。